

# 国保の届け出は14日以内に

私たちは何らかの健康保険に加入しなければなりません。健康保険には、全国健康保険協会(協会けんぽ)、健康保険組合(組合健保)、健康保険組合(組合健保)、共济組合などの健康保険があります。

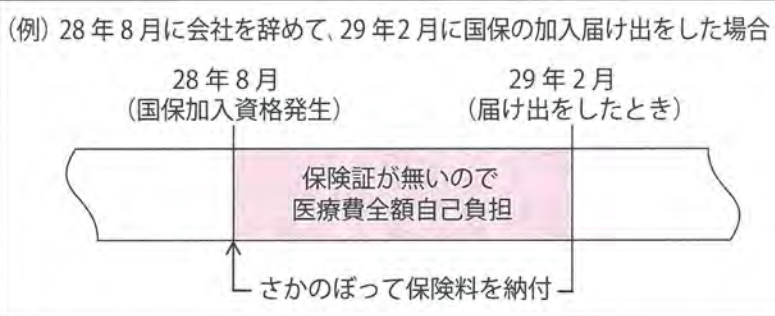
国民健康保険(国保)は、これらの健康保険に加入できない人が加入する健康保険です。家族の加入している健康保険などの扶養(同居していない)にも加入できる場合があります。加入しない場合は、それまで加入していた健康保険の任意継続の保険に加入されない場合は、国保に加入することになります。

就職や退職、転入や転出などに伴って国保の加入や脱退の手続きが必要になった場合は、必ず14日以内に国保医療課に届け出てください。

## 加入手続きが遅れると

届け出をした日からではなく、国保の加入資格が発生した月までさかのぼって保険料を納めなければなりません(遡及制度)。また、その間の医療費は全額自己負担となります。

交通事故にあった時も届け出を。交通事故にあった時は、すぐに国保医療課に届け出てください。届け出をすれば国民健康保険証を使って治療を受けていただけです(一時的に国保が医療費を立て替え、加害者に請求します)。



八幡が町から市になった当時の思い出を、写真を交えながら連載で紹介していきます。

八幡市駅は、明治43年の京阪本線開通と同時に、「八幡駅」の駅名で開業。その後、「石清水八幡宮前駅」「八幡町駅」と改称を経て、市制施行に併せて

## 思い出写真館

### 2 八幡市駅

～市制施行40周年～

「八幡市駅」となりました。駅舎と商店街に挟まれ、バスやタクシー、駅の利用者などで混雑していた駅前には、昭和58年に駅前広場が完成。駅のバリアフリー化も進められ、平成22年にはエレベーターや多目的トイレなどが設置されました。

また、トーマス・エジソンが八幡の竹をフィラメントにして白熱電球の実用化に成功したことちなみ、駅舎もリニューアル。日が暮れると、駅舎の屋根が白熱電球のように暗闇に浮かび上がるようになっており、利用者を温かく迎えています。



市制施行当時の八幡市駅  
現在の八幡市駅

◆問い合わせ 秘書広報課

## コミュニティバスやわた

### 車内広告を募集

市では、「コミュニティバスやわた」の車内に掲示する広告を募集しています。

年間約9万人が利用



お店や商品のPRに

▽対象とする広告物 企業や商品のPR、イベント案内など

▽募集枠 内など

スやわた2台の車内(概ね8枠)

▽掲示期間 3月1日以降

▽広告の規格等 B4サイズ(縦型)以内の紙等に印刷または描画したもの

▽掲示料金 1000円(1枠当たり月額)

▽申し込み等 管理・交通課備え付け、または市ホームページからダウンロードした申込書に必要事項を記入し、掲示したい広告物を添えて掲示を希望する月の前月20日まで申し込んでください。



コミュニティバスやわたの利用済み一日乗車券20枚(交換した利用済み一日乗車券は除く)を新しい一日乗車券1枚と交換します。

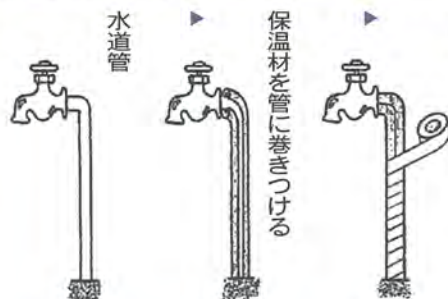
▽交換場所  
管理・交通課(市役所2階)  
市民体育館  
生涯学習センター

◆問い合わせ 管理・交通課

利用済み券20枚で新しい1枚に  
コミュニティバスやわた 一日乗車券

## 水道管の凍結にご注意ください

### 防寒対策例



気温が氷点下4度以下の厳しい寒さになると防寒の不十分な水道管内では、水が凍り破裂することがあります。凍結は屋外に配管された次のようなところで多く発生します。

- ・管が露出(むき出し)しているところ
- ・風あたりの強いところ

### ★防寒対策としては

左の図のように、保温材を管に巻きつけ、保温材自体が水に濡れないように上からビニールテープ等でしっかり巻いてください。

### ★水道管が破裂したら

メーターボックス内にある元栓(止水栓)を閉めてから、上水道課か八幡市指定給水装置工事業者へ連絡してください。

◆問い合わせ 上水道課

## 3月末から

### 橋本駅周辺の通行ルートが変更

京阪橋本駅周辺の道路整備工事の完了に伴い、**小金川踏切は除却**され、3月末(予定)から、右の図のとおり通行ルートを**新設道路**に変更します。

◆問い合わせ 都市整備課



新設道路は高架で、下の道路とは接続していません。踏切除却後は、↓の方向のみ通行可能です。